

# 住み慣れた小 City で安心した暮らしを

小 City は、65歳以上の人が人口の29.3%、75歳以上の人が14.4%(令和4年1月1日時点)と高齢化が進んでいます。高齢になっても安心して暮らせる地域づくりのため、平成31年4月に社会福祉協議会内に「小 City 支えあいセンター」が誕生し、「買い物」、「ゴミ出し」、「付き添い」支援などの住民主体の有償ボランティアが行われています。今回は「付き添い」支援の内容をご紹介します。

## 活動の流れ



自宅へお迎えに



店内ではカゴを抱えるサポートも



買い物袋を玄関まで運びます



時間を確認して支えあい券を受け取り終了!

## 「付き添い」支援ってどんなことするの？

### 利用するには？

対象：一人暮らし高齢者  
高齢者のみ世帯の方

事前に**登録が必要**で、利用料金が**活動20分ごとに100円**かかります。

利用登録後に「支えあい券」を購入し、支援を利用された際に「支えあい券」でお支払いください。

### 生活支援ボランティアになるには？

**登録が必要**です。「付き添い」支援はマイカーでの活動になるため、生活支援ボランティア希望者には自動車学校での運転技術講習会などを受けていただきます。

### 支援内容

生活支援ボランティアが自宅や病院などへマイカーでお迎えに行きます。



#### 病院の付き添い

生活支援ボランティアが自宅の玄関までお迎えに行き、病院入口まで付き添います。往復の支援を行うこともできます。



#### 買い物の付き添い

生活支援ボランティアが自宅の玄関までお迎えに行き、スーパーまでお送りします。要望に応じて店内にも付き添い、帰りも自宅までお送りします。

## 「付き添い」支援の体験談

### 利用者さんの声

付き添い支援を利用して1年ぶりに自分で買い物に行ったら、新鮮な気持ちになり、自信がついて嬉しかったです。ボランティアさんに店内を同行してもらったのも大きかったです。夫に、楽しかったと話したら「僕も嬉しいよ」と喜んでくれました。生活に必要なのは買い物と通院です。病院にも1カ月ほど行けていないので支援を利用して行きたいですね。



小城市 於保さん

### 生活支援ボランティアさんの声

付き添い支援での買い物中、品定めをされている姿に、自分の目で見て選ぶことこそ買い物が一番のポイントなんだと感じました。2度目の付き添い支援の時「自分でもまだできるということを感じた」と話され、諦めかけていた正月前の餅つきをするからと餅米を購入され、初回より元気になられているようでした。小城市の付き添い支援は、玄関先から玄関先までというドアtoドアの支援方法であり、そこが利用者に喜ばれている点だと思います。ボランティアする側としては、体力や健康管理、運転技能のレベルを落とさないような工夫が大事だと思っています。



小城市 川崎さん

支えあいの力で地域に笑顔の輪が広がっています。

支援の利用  
増えています!

#### 令和2年度の利用状況



#### 令和3年度の利用状況



#### 高齢者の方!

その困りごと、みんなの支えあいで解決します!  
まずはお気軽にお問い合わせください。

#### 生活支援ボランティア募集

あなたの力が必要です。  
可能な範囲で始めてみませんか?

問 小城市支えあいセンター(小城市社会福祉協議会内) ☎73・2700

## 「第2層協議体(各町)」 での取り組み

小城市では各町で住民が集まり、それぞれの地域が抱える課題を出し合い、より良いまちにしていけるために、自分たちに何ができるかを話し合っています。実際に取り組んでいる事例などを今後ご紹介していきます!

問 高齢障がい支援課(西館1階) ☎37・6108